

古布のリサイクル

「古布で布ぞうりを編んでみよう」NO.1

用意するもの（材料と道具）

古布（Tシャツなど）



裁ちばさみ



霧吹き



竹べら



古布を裁断する。

芯用布 4本（布の厚さにより本数は変わります）

[幅 4cm 長さ 2m の布 2本 × 2]

土台・鼻緒用（Tシャツなど 2～3枚分）[編み方や布の厚さ、足のサイズによって、布の量は多少違いが出ます]



ぞうりの芯を編む。

霧吹きなどで手を濡らしながら、縄を編む要領で編み込む。編み込んだ紐（ぞうりの芯）を、2本（両足分）作る。



芯でぞうりの骨組みを形作りつま先を編む。
一番最初の編み始めの布端は約 10cm 残す。



ぞうりの幅に注意しながら、布をぞうりの芯に編み込んでいく。



足のくるぶしの位置まで編んだら、もう片足もくるぶしまで編み、両足のバランスをみる。



鼻緒用布（約 1m）を、ぞうりの左端の芯にはさみ、鼻緒の長さを考えながら縄編みする。右端の芯をはさみ、土台用の布と一緒に編み込んでいく。

古布のリサイクル

「古布で布ぞうりを編んでみよう」NO.2



さらに足のかかとまで編んでいく。(最後に、引っ張ると小さくなるので、実際の足のサイズより大きめに編む。)



骨組みの芯の紐を1本ずつ交互に引っ張り、大きさ、形を整えていく。



で引っ張った2本の芯の編み込みを一度ほどき、ほどいた上の布どうして編みこみ、鼻緒にねじってよりをかけながら巻きつける。下の布は、短く切り落とす。竹べら(はさみでも代用できます)を使い、ぞうりの裏側に通し、裏側で、一番最初の編み始めの布端と結ぶ。



ぞうりの裏側の余分な布を、はさみで切り落とし、きれいに整える。



完 成